

第52回大仙市地域公共交通活性化再生協議会
(兼第55回大仙市地域公共交通会議)

日時 令和7年3月17日(月) 午前10時
場所 大仙市役所大曲庁舎3階 大会議室

次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告
 - (1) 文書協議案件の報告について
 - ①大仙市地域公共交通活性化再生協議会運賃協議分科会の設置……資料1
 - ②令和6年度大仙市バスの日実績……資料2
 - ③地域公共交通確保維持改善事業・事業評価……資料3
 - (2) 南外地域市民バスの運行時刻の変更について……資料4
- 4 協議
 - (1) 第5期交通計画に係る各種調査の実施状況について……資料5
- 5 その他
 - (1) 路線バスの上限運賃変更認可申請等について……資料6
- 6 閉会

令和6年度 大仙市地域公共交通活性化再生協議会 名簿

○構成員

| 団体名 | 所属名 | 職名 | 氏名 | 備考 |
|------------------|----------|-----------|--------|-----------|
| 東北運輸局秋田運輸支局 | 総務・企画担当 | 首席運輸企画専門官 | 松原 裕幸 | |
| 東北地方整備局湯沢河川国道事務所 | 調査課 | 課長 | 佐々木 慎 | |
| 秋田県観光文化スポーツ部 | 交通政策課 | 地域交通対策監 | 小野寺 智康 | |
| 秋田県仙北地域振興局 | 建設部 | 次長 | 富田 彰 | |
| 秋田県警大仙警察署 | 交通課 | 課長 | 佐々木 宏樹 | 人事異動により変更 |
| 東日本旅客鉄道株式会社 | 大曲駅 | 駅長 | 小沼 司 | 駅長変更により変更 |
| 羽後交通株式会社 | | 取締役社長 | 齋藤 善一 | |
| 秋田県ハイヤー協会 | 大曲仙北支部 | 支部長 | 青山 忠雄 | 監査委員 |
| 秋田県交通運輸産業労働組合協議会 | 羽後交通労働組合 | 書記長 | 高橋 正竜 | |
| 社会福祉法人大仙市社会福祉協議会 | | 会長 | 佐藤 力 | 副会長 |
| 利用者代表及び住民代表 | 大曲地域協議会 | 委員 | 打川 元喜 | |
| 利用者代表及び住民代表 | 神岡地域協議会 | 委員 | 鈴木 美保 | |
| 利用者代表及び住民代表 | 西仙北地域協議会 | 委員 | 齋藤 法 | |
| 利用者代表及び住民代表 | 中仙地域協議会 | 副会長 | 佐川 晃 | |
| 利用者代表及び住民代表 | 協和地域協議会 | 委員 | 豊嶋 一郎 | |
| 利用者代表及び住民代表 | 南外地域協議会 | 委員 | 伊藤 伝悦 | |
| 利用者代表及び住民代表 | 仙北地域協議会 | 委員 | 加藤 和浩 | 監査委員 |
| 利用者代表及び住民代表 | 太田地域協議会 | 副会長 | 佐藤 隆康 | |
| 大仙市 | | 副市長 | 今野 功成 | 会長 |

○事務局

| 団体名 | 所属名 | 職名 | 氏名 | 備考 |
|-----|--------------|--------|--------|----|
| 大仙市 | 企画部 | 部長 | 伊藤 公晃 | |
| | 健康福祉部 | 部長 | 佐々木 隆幸 | |
| | 健康福祉部社会福祉課 | 課長 | 佐藤 直文 | |
| | 神岡支所市民サービス課 | 課長 | 齊藤 義則 | |
| | 西仙北支所市民サービス課 | 課長 | 齊藤 良子 | |
| | 中仙支所市民サービス課 | 課長 | 草薙 琢哉 | |
| | 協和支所市民サービス課 | 課長 | 佐川 亜希子 | |
| | 南外支所市民サービス課 | 課長 | 堀井 みわ子 | |
| | 仙北支所市民サービス課 | 課長 | 伊藤 優子 | |
| | 太田支所市民サービス課 | 課長 | 小松 伸子 | |
| | 企画部地域活動応援課 | 課長 | 高橋 靖弘 | |
| | 主幹 | 高橋 マユミ | | |
| | 主任 | 進藤 尚人 | | |

大仙市地域公共交通活性化再生協議会運賃協議分科会の設置

1. 概要

これまで、大仙市地域公共交通活性化再生協議会で協議してきた運賃（協議運賃）について、独占禁止法上のカルテル（＝複数の事業者が談合により価格を決める行為）に当たるとの疑義が生じないようにする観点から、当該運賃を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者のみが協議に参加する（＝地域公共交通会議とは別の会議で協議する）よう、令和5年10月1日に道路運送法が改正された。

この法改正を受け、大仙市地域公共交通活性化再生協議会の分科会として、当該運賃等に係る協議を行うための分科会を令和6年4月1日付けで設置する。

2. 委員

| 規約(第3条選任区分) | 所属・職名 |
|------------------------------|-----------------|
| (1) 大仙市長が指名する職員 | 大仙市副市長（会長） |
| (2) 当該運賃等を定めようとする一般乗合旅客運送事業者 | |
| (3) 秋田運輸支局長が指名する職員 | 秋田運輸支局主席運輸企画専門官 |
| (4) 利用代表及び住民代表 | 各地域協議会委員（※） |

※ 地域協議会委員については、当該地域の交通システムにおける運賃協議の際に出席

3. 会議の開催方法

(例) 大曲地域を運行する循環バスの運賃を変更する場合

①運賃協議分科会を再生協議会の前に開催

⇒この場合の分科会出席委員は次の4名

- (1) 会長 大仙市 今野副市長
- (2) 羽後交通 代表取締役社長 齋藤 善一
- (3) 秋田運輸支局 首席運輸企画専門官 松原 裕幸
- (4) 大曲地域協議会 委員 打川 元喜



②大仙市地域公共交通活性化再生協議会

⇒運賃以外の事項（ルート、停留所位置等）については、これまでと同様に再生協議会（全体）で協議を行う

令和6年度 大仙市バスの日実績

1. 目的

大仙市循環バス及びコミュニティバスについて、市内開催のイベントと連携し、利用料金の無料日を設定することで、これらの公共交通をPRするとともに、普段バスを利用しない市民が利用するきっかけを創出し、公共交通の魅力の向上と利用促進を図る。

2. 主催

大仙市及び大仙市地域公共交通活性化再生協議会

3. 実施期間

令和6年10月19日(土)、10月20日(日)

※「大仙市秋の稔りフェア」の開催に併せて実施。

4. 内容

実施期間において、大仙市循環バス及びコミュニティバスの利用料金を無料とする。

5. 対象路線及び利用料金

◎大仙市循環バス(つつどんルート、はなちゃんルート)

【通常料金】200円 → 【期間料金】無料

◎大仙市コミュニティバス(杉山田線、南外線、長信田線)

【通常料金】200円～700円 → 【期間料金】無料

6. 実績

【令和6年度】

1日目(10月19日)

| 路線 | 乗車人数 | 収入見込 |
|------|------|--------|
| 循環バス | 68 | 13,600 |
| 長信田線 | 11 | 5,100 |
| 杉山田線 | 23 | 6,200 |
| 南外線 | 30 | 9,600 |
| 合計 | 132 | 34,500 |

2日目(10月20日)

| 路線 | 乗車人数 | 収入見込 |
|------|------|--------|
| 循環バス | 149 | 29,800 |
| 長信田線 | 20 | 8,500 |
| 杉山田線 | 51 | 15,300 |
| 南外線 | 36 | 13,400 |
| 合計 | 256 | 67,000 |

2日間(合計)

| 路線 | 乗車人数 | 収入見込 |
|------|------|---------|
| 循環バス | 217 | 43,400 |
| 長信田線 | 31 | 13,600 |
| 杉山田線 | 74 | 21,500 |
| 南外線 | 66 | 23,000 |
| 合計 | 388 | 101,500 |

【令和5年度】

1日目(10月21日)

| 路線 | 乗車人数 | 収入見込 |
|------|------|--------|
| 循環バス | 85 | 17,000 |
| 長信田線 | 25 | 12,400 |
| 杉山田線 | 30 | 9,300 |
| 南外線 | 16 | 4,700 |
| 合計 | 156 | 43,400 |

2日目(10月22日)

| 路線 | 乗車人数 | 収入見込 |
|------|------|--------|
| 循環バス | 80 | 16,000 |
| 長信田線 | 8 | 4,300 |
| 杉山田線 | 34 | 10,300 |
| 南外線 | 31 | 9,000 |
| 合計 | 153 | 39,600 |

2日間(合計)

| 路線 | 乗車人数 | 収入見込 |
|------|------|--------|
| 循環バス | 165 | 33,000 |
| 長信田線 | 33 | 16,700 |
| 杉山田線 | 64 | 19,600 |
| 南外線 | 47 | 13,700 |
| 合計 | 309 | 83,000 |

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

資料3

令和7年1月15日

協議会名： 大仙市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(2事業年度前)(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|--------------|--------------|---|-----------|---|--|
| 合資会社おやしきタクシー | 乗合タクシー藤木角間川線 | <p>【前回(2事業年度前)の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期利用者による利用が安定してきている。引き続き利用推移を見守りながら、利用者ニーズの把握に努め、必要に応じて運行内容の見直しを実施する。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤木地区に隣接する角間川地区の路線バスが廃止となったことを受け、令和5年10月1日から、従来の藤木線の路線を延伸した藤木角間川線として運行を開始している。 ・利用者ニーズを把握するため、令和6年8月にアンケート調査を実施した。 | A | <p>【目標値】年間1,300人 ※</p> <p>【実績値】年間2,802人</p> <p>【達成率】215.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線延伸により利用者が増えたため、実績値が目標値を大きく上回った。 <p>※第4期交通計画において、目標値は令和元年度の実績値としている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・路線の認知度が高まっており、今後も利用者が増加すると見込まれるため、交通事業者との協議を定期的に行い、運営体制の強化を図っていく。 ・アンケート調査の結果、ドアツードア運行や運行時間の追加の要望が多かったため、見直しを検討していく。 |
| 中仙タクシー合資会社 | 乗合タクシー杉沢中仙線 | <p>【前回(2事業年度前)の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期利用者による利用が安定してきている。引き続き利用推移を見守りながら、利用者ニーズの把握に努め、必要に応じて運行内容の見直しを実施する。 ・地域内にある道の駅など目的地の追加を引き続き検討する。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズを把握するため、令和6年8月にアンケート調査を実施した。 ・地域の活性化のため、道の駅なかせんへの乗降所の追加を検討しているが、現状は未実施である。 | A | <p>【目標値】年間100人</p> <p>【実績値】年間146人</p> <p>【達成率】146.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期利用者の利用回数の増加により、目標値を達成することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は増加しているが、定期利用者の利用増によるものであることから、制度周知を実施し、新規利用者の確保に努めていく。 ・路線以外の場所で乗降したいという要望があったため、停留所を定めない運行への見直しを検討していく。 |

| | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|--|---|---|
| 羽後交通株式会社 | コミュニティバス長信田線 | <p>【前回(2事業年度前)の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者は増加傾向にあるが、効率的な運行のため、ダイヤ改正や運行内容の見直しを検討する。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年8月に乗り込み調査を実施した。 ・運転手の労働時間抑制の観点から、朝夕の便についてダイヤ改正を実施。 ・『大仙市バスの日(運賃無料日)』を市内のイベントの開催に合わせて実施した。 | A | | B | <p>【目標値】年間10,300人 【実績値】年間9,897人 【達成率】96.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤や通学における定期利用が多いことから、利用者数は昨年並みを維持することができた。(22人減) <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き市内イベントの開催に合わせて運賃無料日を設け、新規利用者の確保に努めていく。 ・乗り込み調査の結果、増便やダイヤ改正といった要望があったため、事業者との協議を定期的に行い、運行内容の見直しを検討していく。 ・事業者の運転手不足や市の財政負担額の増加が深刻化してきていることから、効率的かつ利便性の高い交通モードへの再編も視野に入れた見直しを検討していく。 |
| 羽後交通株式会社 | 循環バスつつどんルート | <p>【前回(2事業年度前)の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逆回りであるはなちゃんルートの状況を見守りながら、利用状況調査を行い、第1便のダイヤ変更を検討する。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年8月に乗り込み調査を実施したが、第1便のダイヤについての要望はなかったため、改正は行っていない。 ・『大仙市バスの日(運賃無料日)』を市内のイベントの開催に合わせて実施した。 | A | | A | <p>【目標値】年間7,100人 【実績値】年間7,454人 【達成率】105.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は昨年度から433人増となり、目標値を達成することができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き市内イベントの開催に合わせて運賃無料日を設け、新規利用者の確保に努めていく。 ・乗り込み調査の結果、増便やダイヤ改正、運行範囲拡大といった要望があったため、事業者との協議を定期的に行い、運行内容の見直しを検討していく。 |
| 羽後交通株式会社 | 循環バスはなちゃんルート | <p>【前回(2事業年度前)の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期利用者による利用が安定してきている。引き続き利用推移を見守りながら、利用者ニーズの把握に努め、必要に応じて運行内容の見直しを実施する。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年8月に乗り込み調査を実施した。 ・『大仙市バスの日(運賃無料日)』を市内のイベントの開催に合わせて実施した。 | A | | A | <p>【目標値】年間6,400人 【実績値】年間7,898人 【達成率】123.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は昨年度から370人増となり、目標値を達成することができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き市内イベントの開催に合わせて運賃無料日を設け、新規利用者の確保に努めていく。 ・乗り込み調査の結果、増便やダイヤ改正、運行範囲拡大といった要望があったため、事業者との協議を定期的に行い、運行内容の見直しを検討していく。 |

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月15日

| | |
|-----------------------------|--|
| 協議会名: | 大仙市地域公共交通活性化再生協議会 |
| 評価対象事業名: | 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 |
| 地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性) | <p>大仙市は、秋田県の県南内陸部に位置し、広大な仙北平野を擁した田園都市である。古くから県南地域の交通の要衝であり、現在では秋田新幹線や秋田自動車道等の高速交通機関を利用することによって、首都圏からの1日行動圏に入っており、多彩な交流が可能な立地にある。</p> <p>事業実施における路線は、本市の郊外地域から主要な公共施設や病院、商業施設などが集まる中心市街地や地域拠点までの移動に利用されており、これを確保・維持していくことは、大仙市が目指す、市民の「利用しやすさ」「暮らしやすさ」を軸とした公共交通ネットワークの構築に必要不可欠となっている。</p> |

南外地域市民バスの運行時刻の変更について

令和7年3月

1. 経緯

南外地域市民バスは、南外地域外小友地区から南外支所周辺までの区間を市の自家有償旅客運送により運行している。しかし、高齢化や人口減少に加え、地域内の医療機関が閉院したことを背景に、利用者が固定化かつ減少している。

今回、南外地域市民バスの運行時間を変更し、南外支所において、コミュニティバス南外線への接続を全便で可能とすることで利用促進を図るものである。

2. 変更内容

【変更前（現在の時刻）】

| | 西ノ又線 | | | | 荒又・釜坂線 | | | 十二ヶ沢・荒沢線 | | | 滝・中野線 | | |
|---|------|------|-------|-------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 集落発 | | 支所発 | | 集落発 | 支所発 | | 集落発 | 支所発 | | 集落発 | 支所発 | |
| 月 | 6:20 | 8:35 | 12:50 | 15:50 | | | | | | | 7:35 | 12:00 | 14:40 |
| 火 | 6:20 | | | 15:50 | | | | 7:40 | 12:00 | 14:40 | 8:25 | 12:50 | 15:50 |
| 水 | 6:20 | | | 15:50 | | | | 8:30 | 12:50 | 15:50 | 7:35 | 12:00 | 14:40 |
| 木 | 6:20 | | | 15:50 | 7:45 | 12:00 | 14:40 | | | | 8:25 | 12:50 | 15:50 |
| 金 | 6:20 | 7:45 | 12:00 | 14:40 | 8:35 | 12:50 | 15:50 | | | | | | |

【変更後】

| | 西ノ又線 | | | | 荒又・釜坂線 | | | 十二ヶ沢・荒沢線 | | | 滝・中野線 | | |
|---|------|------|-------|-------|--------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 集落発 | | 支所発 | | 集落発 | 支所発 | | 集落発 | 支所発 | | 集落発 | 支所発 | |
| 月 | 6:20 | 8:00 | 12:50 | 14:40 | | | | | | | 7:55 | 12:50 | 14:40 |
| 火 | 6:20 | | | 14:40 | | | | 7:40 | 12:50 | 14:40 | 7:55 | 12:50 | 14:40 |
| 水 | 6:20 | | | 14:40 | | | | 7:40 | 12:50 | 14:40 | 7:55 | 12:50 | 14:40 |
| 木 | 6:20 | | | 14:40 | 7:50 | 12:50 | 14:40 | | | | 8:00 | 12:50 | 14:40 |
| 金 | 6:20 | 8:00 | 12:50 | 14:40 | 7:45 | 12:50 | 14:40 | | | | | | |

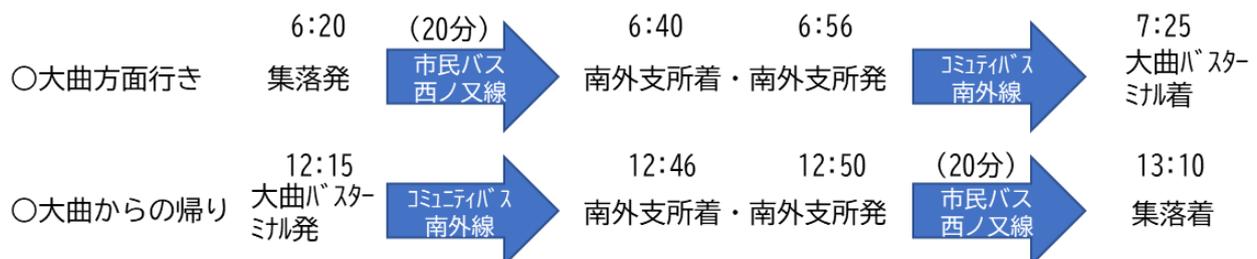
※各路線の始点から南外支所までの所要時間は最大で20分

【コミュニティバス南外線】

○大曲方面行き……南外支所出発 6時56分、8時26分

○大曲からの帰り……南外支所到着 12時46分、14時31分

（例）市民バス西ノ又線とコミュニティバス南外線の乗り継ぎ



3. 今後のスケジュール案

3月 広報南外地域版及び車内掲示により周知

4月 新時刻での運行開始

第5期大仙市地域公共交通計画に係る各種調査の実施状況について

1. 各種調査の実施状況について

○第5期大仙市地域公共交通計画の策定にあたり、令和6年度は各交通システムの利用実態や利用状況を把握するため、各種の調査を順次実施した。また、令和7年度は、市民による個別事業評価や交通事業者・関係部門ヒアリングを実施予定としている。

○各種調査の概要及び実施状況については以下のとおりである。

| 調査項目 | 調査概要 | 実施状況 |
|----------------------|---|------------------|
| 地域協議会からの意見聴取 | ・旧市町村単位で設置している8つの地域協議会を対象に公共交通に関する意見聴取を実施した。 | 済 (R6.5月～10月) |
| 循環バス及びコミュニティバス乗り込み調査 | ・循環バス1路線、コミュニティバス3路線を対象に、運行に関するニーズや意見、利用状況等について聞き取り調査を実施した。 | 済 (R6.8月) |
| 乗合タクシーアンケート調査 | ・乗合タクシー19路線、乗合タクシードアツードア型計11路線を対象に、運行に関するニーズや意見、利用状況等についてアンケート調査を実施した。 | 済 (R6.8月) |
| 市民バス乗り込み調査 | ・市民バス7路線を対象に、運行に関するニーズや意見、利用状況等について聞き取り調査を実施した。 | 済 (R6.8月) |
| 市民による個別事業評価（アンケート調査） | ・16歳以上、84以下の市民1,000人（無作為抽出）を対象とした市政評価の実施に併せ、公共交通に関する個別具体のアンケート調査を実施する。 | R7 実施予定 |
| 交通事業者・関係部門ヒアリング | ・より詳細な地域住民の移動実態やニーズ把握、移動手段の供給側が抱える問題点、今後の方向性等を把握するため、関係者への聞き取り調査を実施する。 ・福祉部門、観光部門、教育部門等へヒアリングを行うことで、各部門の公共交通関連施策の現状、課題、今後の方向性等を把握する。 | R7 実施予定 |

2. 地域協議会からの意見聴取

(1) 調査の概要

| 項目 | 概要 |
|------|---|
| 調査対象 | ・大曲地域協議会、神岡地域協議会、西仙北地域協議会、中仙地域協議会、協和地域協議会、南外地域協議会、仙北地域協議会、太田地域協議会 |
| 調査方法 | ・調査内容について各協議会で説明し、意見書を提出していただいたのち、意見共有を実施。 |

(2) 調査結果の概要

○各地域協議会委員から提出された主な意見内容は次のとおりである。

| 協議会 | 主な意見内容（要約・抜粋） |
|----------|--|
| 大曲地域協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ①イベント時や観光施設向けの送迎バスや巡回バスの運行。 ②乗合タクシーの利便性向上（停留所の増加、乗降可能エリアの拡大、増便、希望時間での利用等） ③大曲駅から大曲バスターミナルまでの案内掲示板の設置。 ④バスの小型化やデマンド化、自動運転化。 ⑤地域の協力者による自家用車での送迎サービスの導入。 ⑥循環バス停留所の近代化。現状は見づらく、分かりにくい。 ⑦のりのりきっぷ交付額の増額。 |
| 神岡地域協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ①乗合タクシーの利便性向上（地域外の病院やスーパー等） ②財源として、市内の病院やスーパーなどから協賛を得る。 ③利用が少ない、赤字路線だからと廃止するのではなく、実際利用している人の声に耳を傾けてほしい。 ④通勤、通学者、嶽の湯利用者のニーズに合わせた運行時間や便数。 ⑤高齢者等に分かりやすい内容、配布物でのPR。 |
| 西仙北地域協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ①乗合タクシーのドアツードア運行は高齢者にとっては良い。 ②公共交通は免許を持たない人の「生命線」、利用者の意見、要求を取り入れるとともに、分かりやすい周知するべき。 ③乗合タクシーに必要な登録や予約など利用しやすくできないか。 ④必要な個所が大きくて見やすい地域公共交通マップの作成。 ⑤安価で利用できる地域の支え合いによる交通システムの構築。 |
| 中仙地域協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ①高齢化が進み、免許返納者が増加することが見込まれるため、交通助成券事業の継続を望む。 ②路線設定にあたっては、利用者のニーズに合わせた細やかな設定が必要。 ③高齢化に伴い、高度な医療・治療を要する住民が増えてくると思われることから、大曲方面への路線の設定を検討いただきたい。 ④乗降所や案内看板、時刻表など、利用を促すための情報提供の充実。 ⑤乗降場所は、利用者の負担とならないよう柔軟に対応いただきたい。 ⑥自動車学校等の協力を得て、高齢者講習などの際に実際に地域公共交通を利用している方からアンケートをとってみたい。 |

| | |
|-------------|--|
| 協和地域 協議会 | <p>①協和地域は複雑な道路網ではないため、路線バスでカバーできる。</p> <p>②秋田～大曲、秋田～角館行きのバスは便利だった。</p> <p>③地域内の移動手段が自家用車に多く依存されている。</p> <p>④路線バス淀川線とコミュニティバス杉山田線の乗り継ぎ可能本数の見直し。 生活バス兼スクールバスの大型車両での運行が効率的でない。(家庭で送迎しているケースも多く、通学時間帯以外の利用者がほとんど見られない。)</p> <p>⑤ライドシェア制度を協和地域で導入し、分散集落在住の住民の足を確保。</p> <p>⑥既存路線を使ったイベント(スタンプラリー、バスでの地域巡り等)の実施。</p> <p>⑦のりのりきっぷの増額。</p> <p>⑧バスの停留所だけでなく、最寄りの地点で乗り降りすることはできないか。</p> <p>⑨地域コミュニティ、自治会、町内会等の住民による送迎システムの構築。</p> <p>⑩駅の階段などのバリアフリー化。</p> |
| 南外地域 協議会 | <p>①現状維持でよい。</p> <p>②乗り継ぎなく、大曲バスターミナル、病院、ショッピングモール(お店の多いところ)に行くことができるシステム。</p> |
| 仙北地域 協議会 | <p>①乗合タクシーの利便性向上(仙北支所やふれあい文化センターでの乗降、フリー乗降、ドアツードア運行)</p> <p>②交通制約者にとってまだ使い勝手が良いとは言えない。</p> <p>③利用方法が分からず、知らない高齢者が多いためもっとPRを。</p> <p>④高齢者や学生だけでなく、観光客や帰省者など幅広い人が使いやすくなればよい。</p> <p>⑤のりのりきっぷの金額5,000円は居住地域によっては不平等。回数券にしては。</p> <p>⑥コミュニティバスは通年でなく冬季のみに限定してはどうか。</p> <p>⑦横手市十文字地区の「買い物バス」を参考に、太田地域や中仙地域のスーパーへ向けたバスを運行してほしい。</p> <p>⑧コミュニティバスは学生の登下校に合わせ、朝、午後の2本で良い。</p> <p>⑨駅と旧池田氏庭園を結ぶ公共交通があればよい。</p> |
| 太田地域 協議会 | <p>①乗合タクシーの利用が極端に少ない。行く場所、範囲が限られているからではないか。</p> <p>②地域公共交通の充実が高齢者の免許返納を後押しする。</p> <p>③コミュニティバス長信田線の見直し(停留所の間隔、駐車場がある施設や団地、診療所等を経由)</p> <p>④公共交通の存在を知っているが、不安で利用できない人がいるのでは。</p> <p>⑤デジタル技術(ICカード、バスの運行状況アプリ等)の検討。</p> <p>⑥観光客を考慮しなければ、現在の交通はよく考えられている。</p> <p>⑦バス路線からタクシー等の2次アクセスが利用しやすい環境の整備。</p> <p>⑧地域の方の力を借り、若い方の収入につながる取り組みがあればよい。</p> <p>⑨社会福祉協議会などによる買い物、通院ボランティア等の運行。</p> |

3. 循環バス・コミュニティバス乗り込み調査

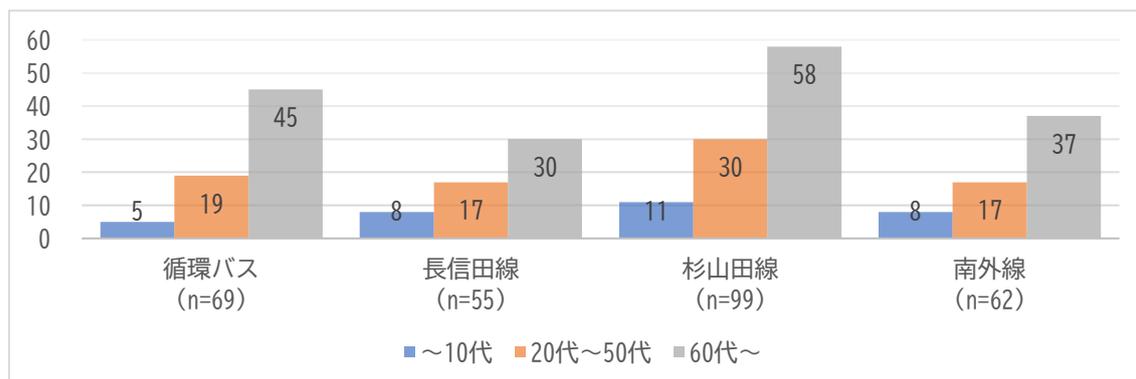
(1) 調査の概要

| 項目 | 概要 |
|------|--|
| 調査対象 | ・循環バス（つつどんルート、はなちゃんルート） ・コミュニティバス（長信田線、杉山田線、南外線） |
| 調査日 | ・循環バス 令和6年8月5日、6日、8日 ・長信田線 令和6年8月5日、7日、9日 ・杉山田線 令和6年8月20日、21日、22日 ・南外線 令和6年8月6日、7日、8日 |
| 調査方法 | ・調査員の乗り込みによる現地調査。 |
| 回収件数 | ・循環バス 69件、長信田線 55件、杉山田線 101件、南外線 63件 合計 288件 |

(2) 調査結果の概要

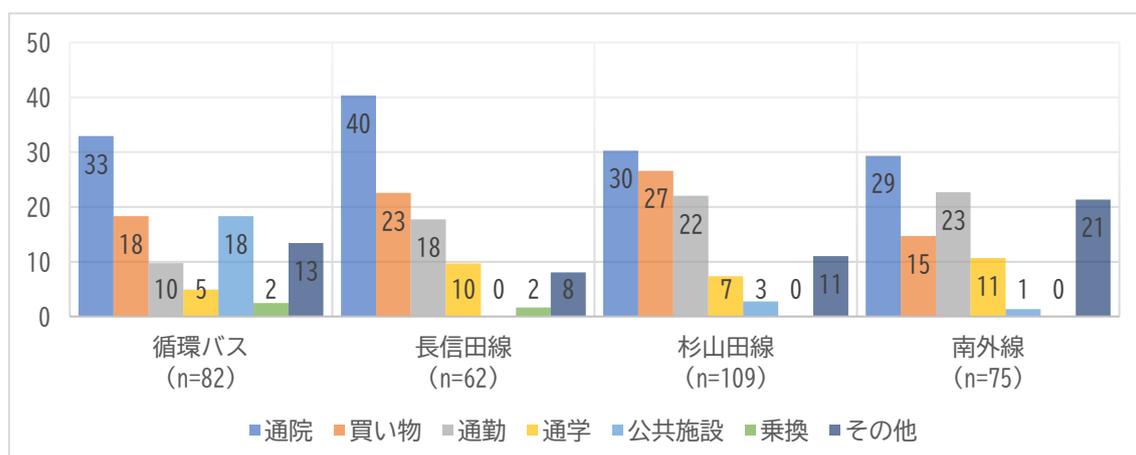
○年代

- ・回答者の年代は、すべての路線で共通して「60代～」の利用者が多い。高齢者の利用が多くなっている。その他の年代の一定の利用者がいる。



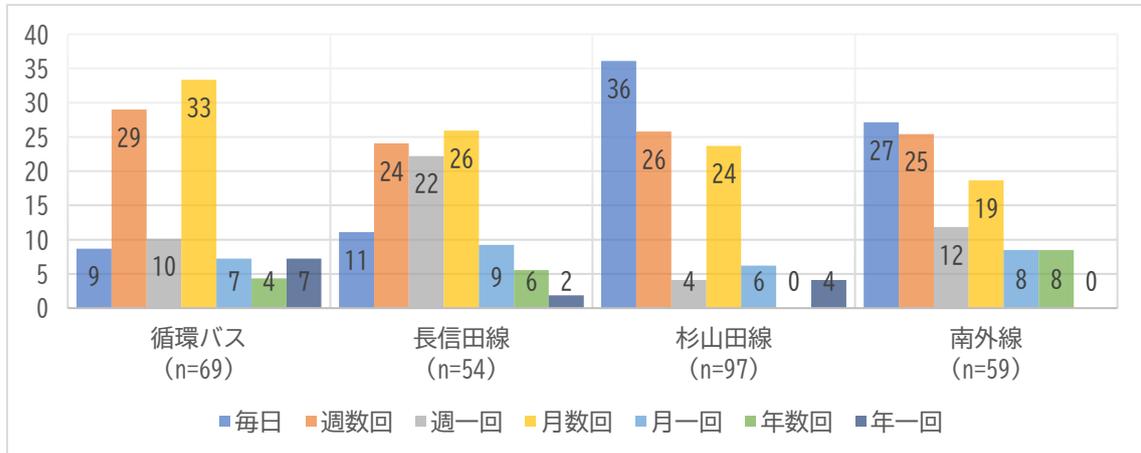
○利用目的 (複数回答)

- ・回答者の利用目的は、すべての路線で共通して「通院」や「買い物」が多い。杉山田線や南外線では「通勤」の利用も多い。



○利用頻度

- ・回答者の利用頻度は、路線ごとにバラつきがあるが、「通院」目的の利用割合が多い循環バスや長信田線については、「週数回」や「月数回」が多い。
- ・循環バスや長信田線と比較し、「通勤」や「通学」の利用割合が多い杉山田線、南外線については、「毎日」、「週数回」の利用が多い。

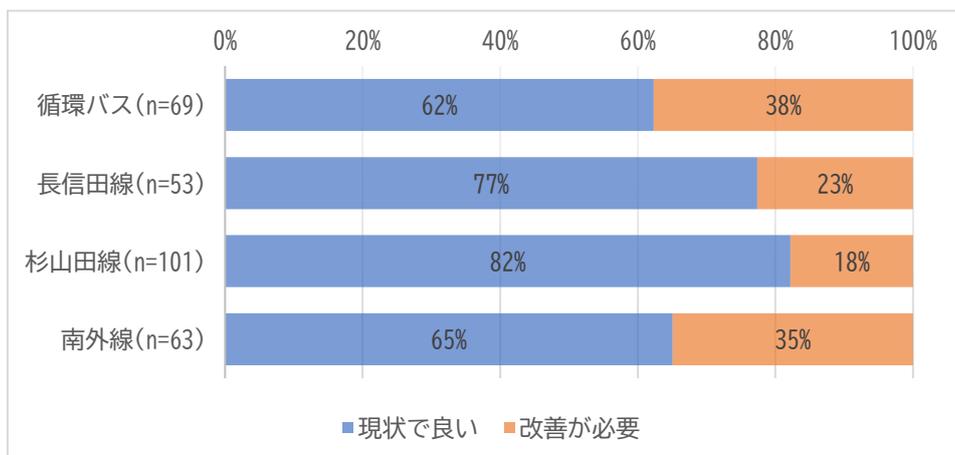


○主に利用する停留所

- ・回答者が主に利用する停留所は次のとおり。
 - 【循環バス】 大曲バスターミナル、いきいきサロンえみのくち、大曲駅（西口）
 - 【長信田線】 大曲バスターミナル、太田南小学校前、長信田車庫前
 - 【杉山田線】 大曲バスターミナル、かみおか温泉、内大坪
 - 【南外線】 大曲バスターミナル、かみおか温泉、白金町、神宮寺郵便局前

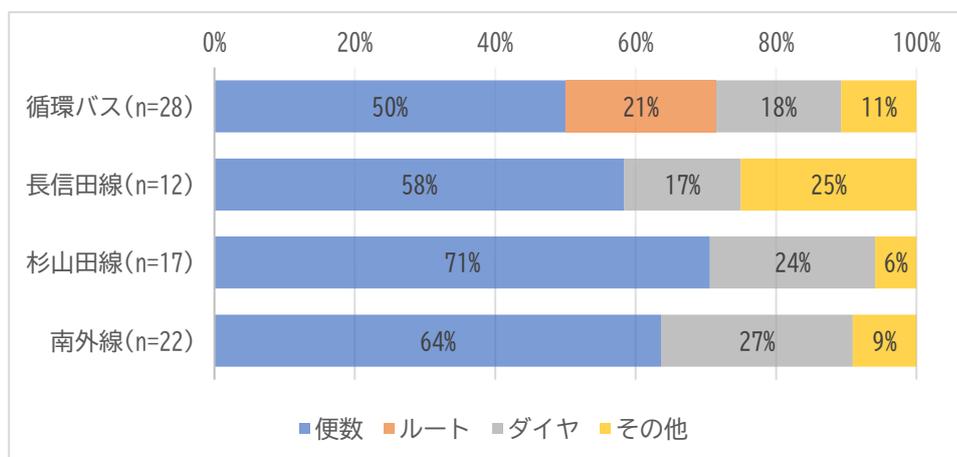
○現在の運行内容について

- ・運行内容については、すべての路線で「現状で良い」が60%以上となった。



○改善してほしい内容

- ・運行内容について、「改善が必要」と回答した方に対して、改善してほしい内容を聞き取りした結果が次のとおりとなっており、すべての路線で共通して「便数」の回答が多い。



○主な意見内容（抜粋）

- ・1時間に2本運行してほしい。（循環バス）
- ・1時間に1本運行してほしい。（コミュニティバス）
- ・休日も平日と同じダイヤで運行してほしい。（コミュニティバス）
- ・運行範囲を広げられないか。（循環バス）
- ・鉄道や他の路線バスの時間に合わせたダイヤにしてほしい。（共通）
- ・令和6年4月ダイヤ改正により通勤がギリギリになった。（杉山田線、南外線）
- ・SUICAで支払いができるようにしてほしい。（共通）
- ・バスが遅れているときいつ来るか分かればよい。（循環バス）
- ・フリー区間を拡大してほしい。（コミュニティバス）
- ・停留所まで距離がある。（共通）
- ・バス車両のステップの上り下り苦勞する。（コミュニティバス）

4. 乗合タクシーアンケート調査

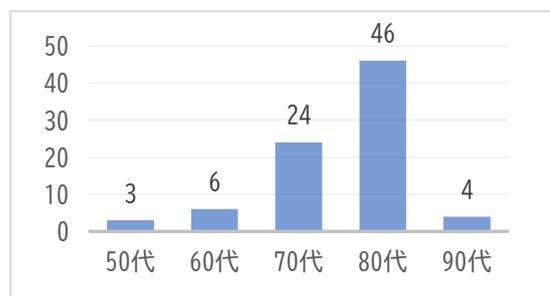
(1) 調査の概要

| 項目 | 概要 |
|------|--|
| 調査対象 | <ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシー（大曲、中仙、協和、仙北、太田） 計 19 路線 乗合タクシードアツードア型（神岡、西仙北、南外） 計 11 路線 |
| 調査期間 | 令和 6 年 7 月 29 日 ~ 9 月 13 日 |
| 調査方法 | 調査期間中の利用者に対して、運転手からアンケートはがきを配布してもらい、後日郵送による回答。 |
| 回収件数 | 合計 85 件 |

(2) 調査結果の概要

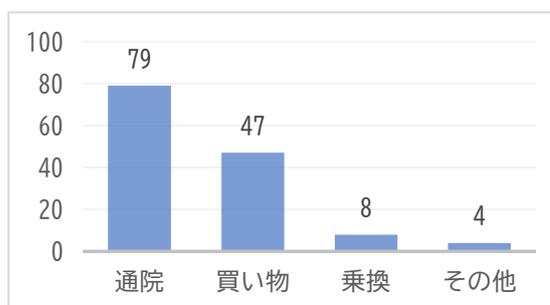
○年代

- 利用者の年代は、「80代」が最も多く、次いで「70代」と高齢者の利用が多い。



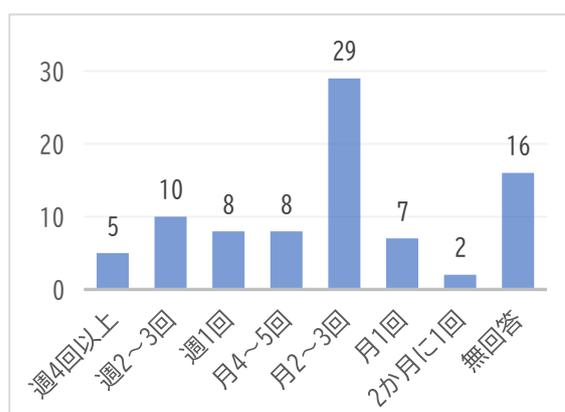
○利用目的（複数回答）

- 利用者の利用目的は、「通院」が最も多く、次いで「買い物」が多い。



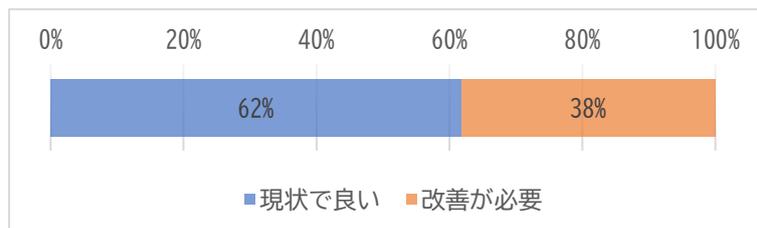
○利用頻度

- 利用者の利用頻度は、「通院」、「買い物」の利用目的が多いことに伴って、「月 2~3 回」や「週 2~3 回」が多い。



○現在の運行内容について

- ・運行内容については、「現状で良い」という回答が62%となった。



○主な意見内容（抜粋）

- ・運行内容について、「改善が必要」と回答した方に対して、改善してほしい内容を聞き取りした結果が次のとおりとなっている。

| 路線名 | 主な意見内容 |
|------------|---|
| 内小友線(大曲) | ・10時に市内へ行く便がほしい。 |
| 四ツ屋線(大曲) | ・増便してほしい。 |
| 高関上郷線(大曲) | ・10時に市内へ行く便がほしい。 |
| 中山線(大曲) | ・土日どちらか運行してほしい。 ・午前と午後の便を1本ずつ増やしてほしい。 |
| 藤木角間川線(大曲) | ・自宅付近で乗り降りしたい。 ・休日も運行してほしい。 ・角間川公民館に停留所を置いてほしい。 |
| 関金線(神岡) | ・以前のように単独利用500円、乗合時400円に戻してほしい。 |
| 土川線(西仙北) | ・電車の時間に合わせた時間にしてほしい。 ・16時や17時30分の帰りの便がほしい。 |
| 杉沢中仙線(中仙) | ・路線以外の場所でも乗り降りしたい。 ・土日祝日どこか1日だけでも良いので運行してほしい。 |
| 船沢線(協和) | ・9時台の電車の時間に合わせてほしい。 ・休日も運行してほしい。 |
| 板見内線(仙北) | ・10時と12時に市内へ行く便また、12時に帰る便がほしい。 ・バザールに停留所を置いてほしい。 |
| 上野田線(仙北) | ・土曜日にも運行してほしい。 ・12時に帰る便がほしい。 ・12時に市内へ行く便がほしい。 |

5. 市民バス乗り込み調査

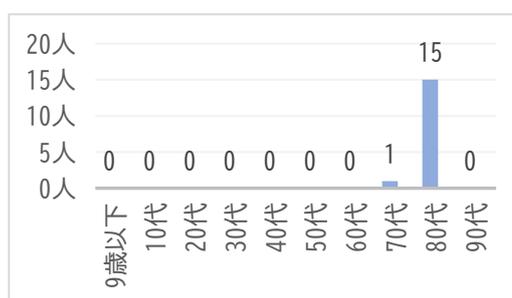
(1) 調査の概要

| 項目 | 概要 |
|------|-----------------------------------|
| 調査対象 | ・西仙北地域市民バス 計3路線 ・南外地域市民バス 計4路線 |
| 調査期間 | ・令和6年7月29日～8月30日 |
| 調査方法 | ・調査員の乗り込みによる現地調査 |
| 回収件数 | ・16件 |

(2) 調査結果の概要

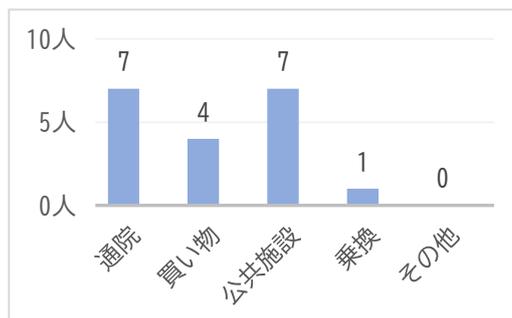
○年代

- ・利用者の年代は、「80代」が15件、「70代」が1件と高齢者のみの利用となっている。



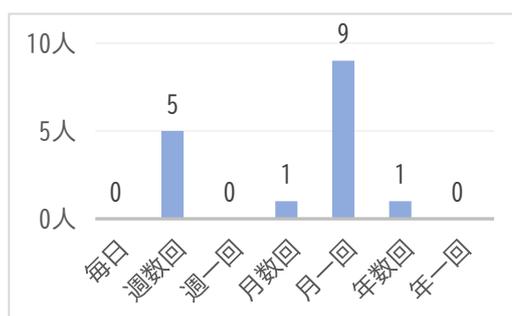
○利用目的（複数回答）

- ・利用者の利用目的は、「通院」、「公共施設」が7件、「買い物」が4件、「乗換」が1件となった。



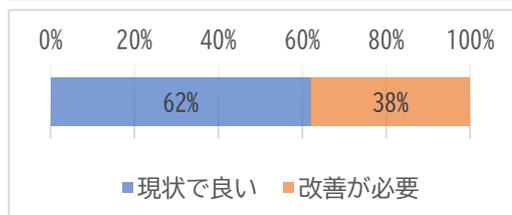
○利用頻度

- ・利用者の利用頻度は、「月一回」の利用が9件と最も多く、「週数回」が5件、「月一回」「年一回」が1件ずつとなった。



○現在の運行内容について

- ・「現状で良い」という回答が62%となった。



○主な意見内容

- ・自宅まで来てほしい。
- ・全ての区間でフリー乗降にしてほしい。
- ・大曲市街地（大曲厚生医療センター等）まで運行してほしい。

6. 市民による個別事業評価（公共交通に関するアンケート調査）（令和7年度実施）

（1）調査の概要

| 項目 | 概要 |
|--------|--|
| 調査対象 | ・16歳以上84歳以下の男女から無作為に抽出した市民1,000人 |
| 調査方法 | ・郵送による配布、返信用封筒による回収方式。 (インターネット回答による回答を併用。) |
| スケジュール | ・3月下旬～4月下旬 設問及び調査票の作成。 ・5月上旬 調査票発送。 ・6月下旬 回答締め切り。 ・7月以降 集計及び分析、交通計画に位置付ける事業内容の検討。 |

（2）調査項目について

- 令和7年度市政評価に併せ、公共交通に関する個別具体のアンケート調査を実施するもの。
- 調査項目案、主な把握内容・ねらいは次のとおりである。(調査項目は概ね5問程度)

| 調査項目（案） | 主な把握内容・ねらい |
|-------------------------|--|
| 性別、年齢、職業、居住地域、家族構成 | ○路線の利用特性を分析するうえで必要となる基礎データを把握する。 |
| 日常生活における主な移動手段、移動目的、目的地 | ○回答者の移動目的や移動先の地域等を把握することで、既存路線で対応できていない潜在的なニーズがないか分析する。 ○現在、移動手段が確保されている人についても、公共交通を積極的に利用してもらうためには、どのような路線があればよいのか分析する。 |
| 市の財政負担、利用者負担 | ○公共交通を維持する上での、市の財政負担や利用者負担のあり方について市民の意向を把握する。 【選択肢の例】・市の財政負担や利用運賃を上げて、サービスを向上させる。 ・現状と同程度の費用で、サービスを維持または改善する。 ・利用の少ない路線は廃止や縮小する。 |
| 望ましい公共交通の運行形態 | ○今後、路線再編や新たな施策の導入を検討するうえで、どのような運行形態の公共交通が望ましいか市民の意向を調査する。 【選択肢の例】・毎日運行するが、1日の便数は少ない。 ・1日の便数は多いが、週2～3回運行する。 ・料金は安い(500円程度)、指定の停留所での乗降が必要。 ・料金は高くなるが、自宅付近で乗降できる。 |
| 今後の施策や取り組みについて | ○公共交通の利用促進を図るために、市に力を入れて取り組んでほしい内容について市民の意向を把握する。 【選択肢の例】・高齢者や運転免許返納者等に対する移動支援の拡充。 ・乗り放題の乗車券や定額運賃制の導入。 ・時刻調整や待合所の整備等による乗り継ぎ環境の改善。 |

7. 交通事業者・関係部門ヒアリング（令和7年度実施）

（1）調査の概要

| 項目 | 概要 |
|------|---|
| 調査対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者：JR東日本（大曲駅） ・バス事業者：羽後交通株式会社 ・タクシー事業者：大曲タクシー、サントタクシー、よつやタクシー、仙北タクシー、おやしきタクシー、中仙タクシー、新昭和タクシー刈和野営業所 ・福祉担当部局：社会福祉協議会、高齢者包括支援センター（高齢者施策担当課）、社会福祉課（障がい者施策担当課） ・観光担当部局：観光交流課（観光タクシー等の二次交通） ・教育担当部局：教育総務課（スクールバス等担当課） ・NPO法人：南外さいかい市（互助による輸送） |
| 調査方法 | ・直接訪問、または電話等によるヒアリング。 |

（2）調査項目について

- より詳細な地域住民の移動実態やニーズ把握、移動手段の供給側が抱える問題点、今後の方向性等を把握するため、関係者への聞き取り調査を実施する。
- 福祉部門、観光部門、教育部門等へヒアリングを行うことで、各部門の公共交通関連施策の現状、課題、今後の方向性等を把握する。

| 調査項目（案） | 主な把握内容 |
|-----------------------|---|
| 運行上の課題等について | <ul style="list-style-type: none"> ・路線（停留所）ごとの利用実績、乗降データの把握。 ・利用者の属性、意見、要望の把握。 ・交通事業者の運転手人数、車両台数、収支状況の把握。 ・今後の見通しや計画への要望事項の把握。 ・交通空白地域における公共交通の要望等の把握。 |
| 交通システムの利便性の向上や見直しについて | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人や自治会が担い手となる新たな移動手段について。 ・福祉施設の空き車両を活用した移動手段や、福祉有償運送について ・日本版ライドシェア（自家用車活用事業）について。 ・AI技術を活用した配車システムについて。 ・観光客が利用しやすい二次交通について。 ・公共交通とスクールバス路線の連携について。 ・様々なデジタル技術の導入による利便性の向上について。 |

令和 7年 1月15日

関係各位

羽後交通株式会社

路線バス（一般乗合バス）の上限運賃変更認可申請について

羽後交通株式会社（本社：秋田県横手市 取締役社長：齋藤善一）は、本日2025年1月15日付で、国土交通省東北運輸局に一般乗合バス運賃の上限運賃変更認可申請を行いましたのでお知らせいたします。

申請理由および申請概要等は以下の通りです。ご利用のお客様におかれましては、事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 申請理由

当社は平成9年4月に運賃改定を実施して以来、消費税率の引き上げや軽微な改定を除き、約27年間にわたり運賃を変更することなく路線バス事業を継続してまいりました。

その間、路線バス事業は人口減少やマイカー普及、更には少子化による学校統合（スクールバス化）などによる利用者の減少に歯止めがかかっておりません。一方、費用面におきましては深刻な乗務員不足に伴う人材確保および待遇改善に要する費用、また、燃料費や資材等の物価高騰や安全対策・利便性向上施策に要する継続的な投資等、社会環境変化と事業環境変化により年々経費が増しており、事業経営を圧迫しております。

以上のような経営環境におきまして、今後も引き続き地域の移動を支える公共交通事業者として輸送サービスを提供していくためには運賃改定による収支改善が必要と判断したことから、今般認可申請を行ったものです。

2. 申請概要

(1) 申請日 令和7年1月15日（水）

(2) 実施予定日 令和7年4月1日（火）

(3) 上限運賃※1の平均改定率 19.23%

実施運賃※2の平均改定率は10%程度を予定

※1 上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から収受する運賃額です。なお、実施運賃については現時点の予定であり、変更となる場合があります。

(4) 上限運賃比較表

| 運賃制度 | 上限運賃 | | 実施運賃（予定） | |
|------|--------|--------|----------|------|
| | 現行 | 申請 | 現行 | 申請 |
| 基準賃率 | 39円30銭 | 49円00銭 | — | — |
| 初乗運賃 | 160円 | 200円 | 160円 | 200円 |

(5) 主な実施運賃比較表

| 片道運賃 | | 通勤定期券 (1ヶ月) | | (参考) 主要区間の一例 |
|--------|--------|-------------|---------|--|
| 現行運賃 | 申請運賃 | 現行運賃 | 申請運賃 | |
| 160円 | 200円 | 6,600円 | 8,400円 | ・横手BT～平鹿総合病院前 ・角館営業所～伝承館入口 |
| 190円 | 230円 | 7,920円 | 9,600円 | ・横手BT～本町 ・角館駅前～角館高校前 |
| 210円 | 250円 | 8,800円 | 10,500円 | ・湯沢営業所～雄勝中央病院 ・大曲BT～イーストモール ・本荘駅前～由利組合病院 |
| 250円 | 280円 | 10,560円 | 11,700円 | ・横手BT～横手高校前 |
| 260円 | 300円 | 11,000円 | 12,600円 | ・大曲BT～イオンモール大曲 |
| 280円 | 320円 | 11,880円 | 13,400円 | ・横手BT～秋田ふるさと村 |
| 330円 | 370円 | 14,080円 | 15,500円 | ・湯沢営業所～岩崎 ・境案内所～リハセン前 |
| 410円 | 440円 | 17,600円 | 18,400円 | ・横手BT～平成高校前 |
| 460円 | 490円 | 19,800円 | 20,500円 | ・横手BT～金沢本町 |
| 520円 | 560円 | 22,120円 | 23,500円 | ・横手BT～十文字案内所前 |
| 540円 | 590円 | 22,680円 | 24,700円 | ・湯沢営業所～横堀駅前 |
| 630円 | 670円 | 25,900円 | 27,600円 | ・横手BT～湯沢営業所 ・本荘営業所～矢島総合支所 |
| 680円 | 720円 | 27,470円 | 29,400円 | ・本荘営業所～象潟駅前 |
| 730円 | 760円 | 29,040円 | 30,800円 | ・横手BT～大曲BT |
| 740円 | 780円 | 29,350円 | 31,500円 | ・横手BT～大森病院前 |
| 790円 | 810円 | 30,920円 | 32,400円 | ・大曲BT～大森病院前 |
| 810円 | 850円 | 31,550円 | 33,600円 | ・湯沢営業所～皆瀬庁舎前 |
| 890円 | 940円 | 34,070円 | 36,300円 | ・本荘営業所～秋田駅前 |
| 900円 | 940円 | 34,230円 | 36,300円 | ・湯沢営業所～東成瀬役場前 |
| 970円 | 1,010円 | 36,270円 | 38,400円 | ・横手BT～坂の下 |
| 1,050円 | 1,090円 | 38,790円 | 40,800円 | ・本荘営業所～鳥海菜らんど |
| 1,110円 | 1,150円 | 40,670円 | 42,600円 | ・本荘営業所～道の駅黄桜の里 |
| 1,130円 | 1,170円 | 41,300円 | 43,200円 | ・境案内所～角館営業所 |
| 1,140円 | 1,180円 | 41,610円 | 43,500円 | ・湯沢営業所～小安温泉 |
| 1,900円 | 1,940円 | 64,870円 | 66,300円 | ・横手BT～本荘営業所 |

※運賃額は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

(6) 輸送人員および収支状況

| | | 輸送人員 | 収支状況 |
|----------------|-----|--------|-------------|
| 2023 年度（実績年度） | | 903 千人 | ▲672,464 千円 |
| 2025 年度（平年度推計） | 改定前 | 911 千人 | ▲678,297 千円 |
| | 改定後 | 876 千人 | ▲605,196 千円 |

※2025 年度改定後の輸送人員および収支状況は申請上限運賃での推計値です。

※申請数値は貸切バス・高速バスを含まないため、決算等の公表数値とは異なります。

3. これまでの経営合理化状況および今後の取り組み

当社はこれまで、非効率路線の減便・休廃止をはじめとする運行ダイヤの見直しや車両の小型化に加え、事務・窓口業務の見直しによる省人化等を行い事業の効率化を図ってまいりました。

今後も、ご利用状況に応じた運行計画の見直しのほか、多様化している社会情勢や交通システムに柔軟に対応すべく、地域や行政と連携を密にしながら利便性の向上に向け最大限の努力を行ってまいります。

4. サービス向上に向けた取り組み

当社では、平成 29 年より高校生向けの「スマホ定期券」を導入しており、また、令和 3 年度より QR コード決済「PayPay」の導入を開始し、令和 5 年度からは「d 払い」、令和 6 年度には「auPay」を管内全路線に導入しております。さらに、田沢湖営業所管内の路線限定ではありますが、令和 6 年 9 月より「クレジットカードによるタッチ決済」システムを導入しており、キャッシュレス決済の拡充とともに運賃支払いによる降車時の時間ロスも低減されております。

また、市町村と連携した利用者への助成や、温泉施設・店舗等と連携した割安な乗車券につきましても継続していくこととしております。

今後も引き続き様々なサービスを積極的に開発・検討していき利用者の利便性の向上に努めてまいります。

【お問い合わせ】

羽後交通株式会社 事業本部輸送課

TEL 0182-32-4154

FAX 0182-32-1656

Mail noriai@ugokotsu.co.jp